

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

多発性形質細胞腫を伴う再発難治多発性骨髄腫に対して細胞障害性抗癌剤を使用した症例の後方視的解析

[研究責任者]

血液内科 角南 一貴

[研究の背景]

多発性骨髄腫はその臨床経過で多発性形質細胞腫を生じることが知られており、とりわけ髄外腫瘤を形成した場合の予後は著しく不良です。多発性形質細胞腫を伴う多発性骨髄腫に対して細胞障害性抗癌剤を用いた治療が有効である場合があり、臨床上、施行されています。

[研究の目的]

当院において多発性形質細胞腫を伴う再発難治多発性骨髄腫に対して細胞障害性抗癌剤を投与された症例の有効性及び安全性を後方視的に解析します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

多発性骨髄腫の患者さんで 2016年6月から 2020年5月までに細胞障害性抗癌剤の投与を受けた方

●研究期間：臨床研究審査委員会承認日～西暦 2021年9月30日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：

① 臨床所見

(年齢、性別、病歴に関する情報 (M 蛋白型、前治療歴、既治療薬剤等)、臨床病期等)

② 血液所見 (CBC、白血球分画、肝腎機能、蛋白分画、免疫固定法、遊離軽鎖等)

③ 病理学的所見 (免疫組織学的所見・染色体検査)

④ 治療 (治療開始日、薬剤の投与回数、投与量、増悪日)

⑤ 治療反応性・予後、毒性

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター

臨床研究部長 角南 一貴

電話 086-294-9911 FAX 086-294-9255